

## 2. 赤井・木崎周辺 (B)

この調査地区は、国道 443 号の東側に位置し、西側から氾濫平野、山地、段丘面と推移する。また南側地域には一部山麓堆積地形が広がる。この地域は建設年代の古い屋根瓦の家屋が多く、建設年代の新しい建物は少ない印象である。被害状況は、建設年代の古い建物の傾斜、一階部からの倒壊、2 階部の崩壊、土塀の納屋の崩壊、ブロック塀の倒壊等が目立つ。石積みの擁壁上の建物は、石積みの崩壊による支持力低下により損壊ならびに傾斜している。一方、隣接するブロック擁壁上の建物は一部の損傷はあるものの倒壊には至っていない。調査の範囲内では、建設年代の新しいと思われる住宅には、目立った被害はなかった。

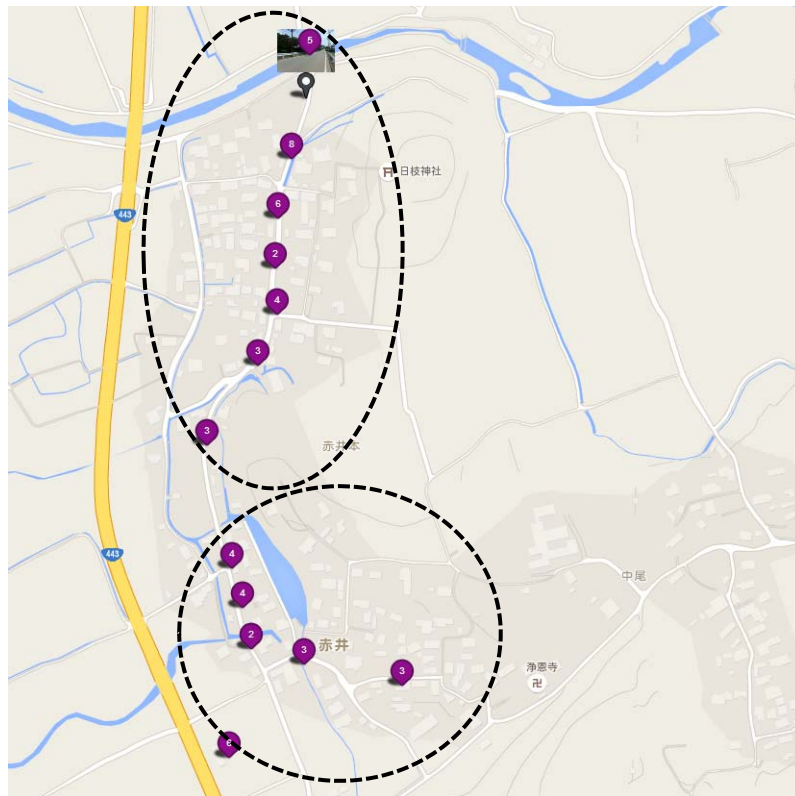


図 地震被害の調査対象地域と写真撮影地点（数値は各地点の写真撮影数）

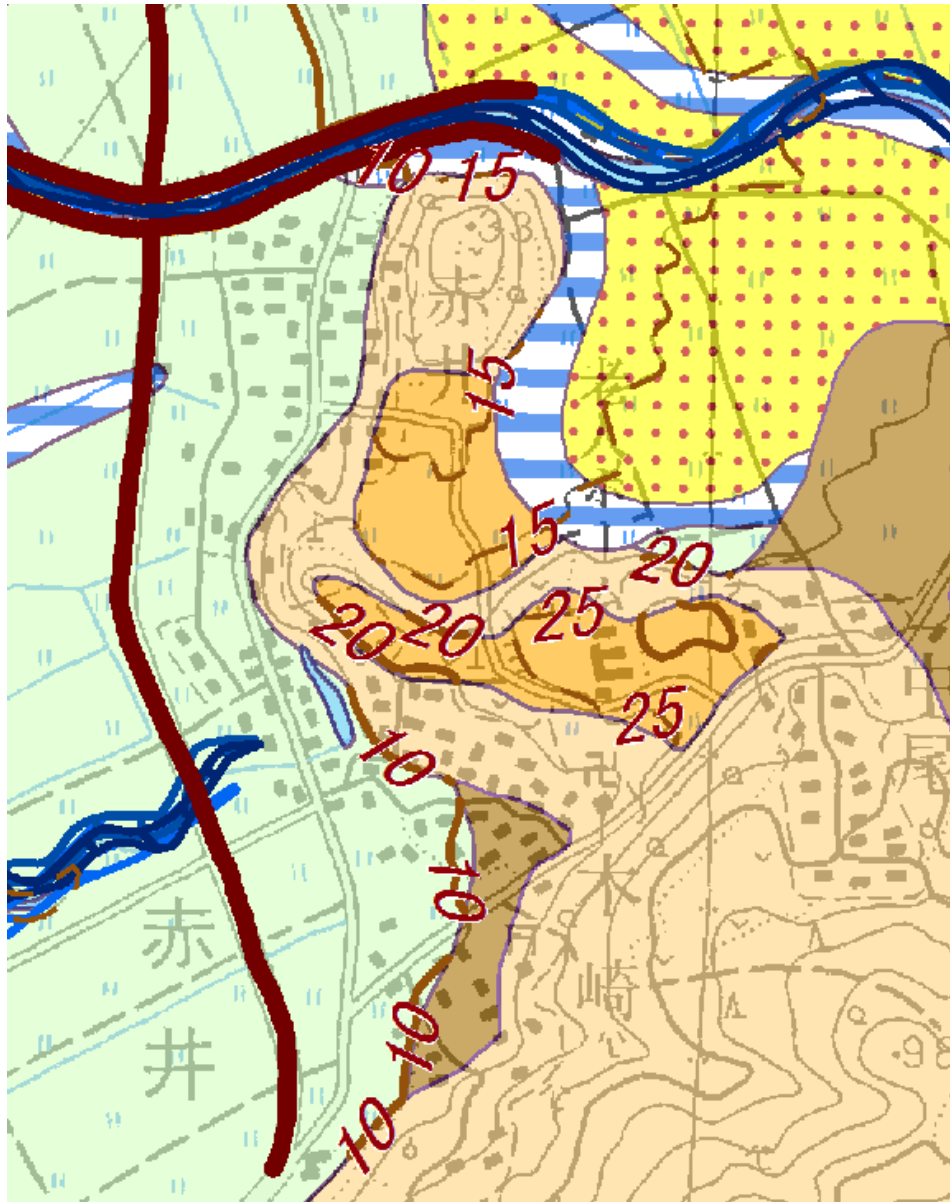


図 調査B地区の治水地形分類図（平成 22 年 3 月作成 国土地理院）

・ B地区北側地域









・ B 地区南側地域



